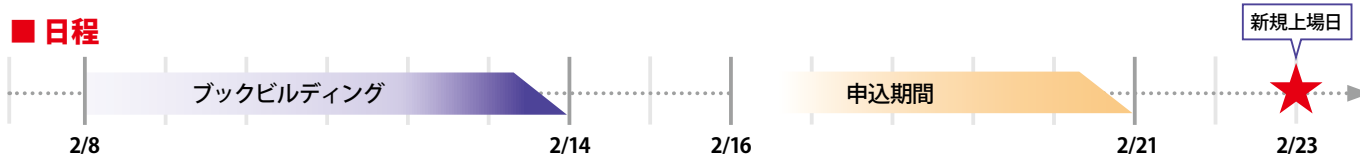


## IPO銘柄 レノバ (9519・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
9519	100 株	公募: 65.00 万株 売出: 56.00 万株 (OA18.15 万株)	660 円 ~ 750 円 (7.6 倍)	大和証券



## 大規模発電所を展開する再生可能エネルギー電源デベロッパー

### ■ 事業内容

大規模発電所を開発、所有する再生可能エネルギー電源デベロッパー。大規模太陽光発電、バイオマス発電の発電所をデベロッパーとして開発し、運営している。発電所のある地域に根差し、地域社会との共生・共創を柱として、固定価格買取制度 (FIT) の適用期間にわたって超長期の運転、売電を行っていく。連結子会社とSPC (特別目的会社) を通じ、大分県や栃木県、千葉県など6カ所の大規模太陽光発電所と1カ所のバイオマス発電所を保有。発電所は地域、発電種類が分散しており、FIT期間を通じて安定的な売電収入を得ている。発電量は計161メガワットで、岩手県など現在工事着工済みの発電所を含めると計290メガワットとなる。プラスチックリサイクル事業は担当子会社株式を売却し、16年8月に事業から撤退している。

### ■ 特徴

同社の運転開始、建設着工済みの大規模太陽光発電所は、1キロワット当たり40円、または36円というFIT開始初期の単価での売電権を有している。大規模太陽光発電、バイオマス発電に加え、洋上を含めた風力発電や地熱発電などのマルチ発電と呼ばれる複数種類発電の展開にも注力している。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年5月期の連結営業利益は前期比29.7%増の27億3,100万円を予想する。再生可能エネルギー発電事業は、既存の太陽光発電所の発電量が好調に推移しているほか、水郷潮来ソーラー (茨城県) の出資比率引き上げも寄与する

### ■ 定性分析

再生可能エネルギー関連株は国策に乗るものの、株式市場で物色が一巡してしまっただけでテーマ性はそこまで強くないが、イーレックスなどが高く評価されていることから、相応の人気は集めそうだ。買取価格の低下傾向は将来への懸念材料。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約10億円程度。ロックアップ条項は付されているものの、発行済株式の2割程度をベンチャーキャピタル保有株が占めているため、圧迫感は強い。ロックアップが解除される公開価格比1.5倍水準が意識されそうだ。 (小泉健太)

### ■ 類似企業

レノバ(9519・マザーズ)	予想PER7.6倍 (仮条件上限)
エフオン (9514・東証1部)	予想PER10.0倍
イーレックス (9517・東証1部)	予想PER38.7倍

### ■ 引受証券

大和証券、みずほ証券、SMBC日興証券、東洋証券、SBI証券、マネックス証券、いちよし証券、極東証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年5月期(実績)	5,539	—	712	—	433	—	26.8	0.0
16年5月期(実績)	8,556	54.4	1,307	83.5	305	▲29.5	18.9	0.0
17年5月期(会社予想)	8,169	▲4.5	1,758	34.5	1,755	5.7倍	99.1	0.0

※ 15年5月期より連結決算。16年12月に株式分割(1株→4株)を実施。  
15年5月期、および16年5月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年5月期	4,047,700	27,968	3,497	1,190	165.5	9.6	17.5
16年5月期	4,377,700	51,613	5,134	1,660	227.1	7.7	9.2

※ 15年5月期、および16年5月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	木南 陽介	3,720,000	19.34
2	住友林業	1,840,000	9.57
3	辻本 大輔	1,800,000	9.36
4	本田 大作	1,794,000	9.33
5	ミツウロコグループホールディングス	969,600	5.04
6	鈴与商事	756,000	3.93
7	京大ベンチャーNVCC1号投資事業有限責任組合	690,400	3.59
8	DBJキャピタル投資事業有限責任組合	599,600	3.12
9	環境エネルギー1号投資事業有限責任組合	590,800	3.07
10	ニッセイ・キャピタル4号投資事業有限責任組合	476,000	2.47

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	千本 倅生
代表取締役社長CEO	木南 陽介
取締役副社長執行役員 組織管理部 長	須山 勇
取締役執行役員CPO	辻本 大輔
取締役(非常勤)	水島 正
取締役(非常勤)	村山 利栄
常勤監査役	近藤 一義
常勤監査役	柴田 雄司
監査役(非常勤)	平田 幸一郎
監査役(非常勤)	金子 憲康

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。